



公益社団法人
東京都医師会

Tokyo Medical Association

人生を支える医療を目指す

公益社団法人
東京都医師会
Tokyo Medical Association

地域の生活者と地区医師会が主役

東京都医師会は、地域の生活者のために地区医師会と多職種団体との連帯・協働で、東京全体を見据えた「医療提供体制」と「地域包括ケア」の具現化を積極的に推進します。



1. 東京にふさわしい 「地域医療提供体制」「地域包括ケア」の構築

■東京全体の患者の受療行動を重視した「地域医療体制」の構築

- 保健医療計画にふさわしい地域医療構想区域を実現
- 地区医師会、大学医師会、東京都、医療関係団体等の密接な連帯のもと、病床機能を検討
- 東京全体を結ぶICT医療ネットワークの構築

■地区医師会主導の「地域包括ケア」の構築

- 東京都医師会が直接サポートするとともに、東京都行政を通じて地区行政と地区医師会の橋渡し役として尽力
- 顔の見える多職種連携の構築
- ICTを利用した医療介護の連携システムの構築
- 病院救急車を利用した高齢者搬送システムの拡充

2. 2025年に向けて変容を迫られる 医師をしっかりとサポートできる東京都医師会に

- 大学への出張講義を通じて、医学生の段階から地域医療及び医師会の重要性の理解を得る（現在5大学で実施）
- 研修医の会費を無料化するなどして、多くの若手医師を医師会員に
- 大学医師会と連動した勤務医への開業支援および医院継承事業の積極的展開
- 医師資格証の普及により会員の利便性の向上
- 医療事故調査制度の中で、支援団体として医療機関をサポート
- 安心して診療に専念できるよう新たな医療安全対策システムの構築
- 医師会と行政が後押しする公的人材紹介システム構築の検討

3. 医療政策 3つの柱

3. 2025年に向けて超高齢化社会を見据え 都民の予防医療への積極的施策

- がん予防および健康寿命延伸に深くかかわるタバコ対策の推進、更なるタバコの害についての啓発、禁煙外来の拡充、オリンピック開催に向け受動喫煙防止対策の徹底
- 胃がんハイリスク検診の普及とエビデンスづくりへの協力
- かかりつけ医を介した真の健康管理の推進
- 地区医師会を介した介護予防事業への積極的取り組み
- エイズをはじめとした Dengue 熱など新興・再興感染症等の予防対策
- 産業保健の充実による職域の健康づくりの推進
- 学校医による健康・保健教育の充実



平成27・28年度 東京都医師会役員のご紹介

地域医療現場からの貴重な声を活かし、
“東京都から日本の医療を変えていく”という
使命感と行動力で政策実現に向け、
総力を持って邁進してまいります。

| 会長 President

尾崎 治夫 Ozaki Haruo

今回、掲げさせていただいた3つの医療政策の実現を含め、才能豊かな“チーム尾崎”のメンバー20名と一緒に、直面する医療課題に、迅速かつ的確に対処してまいります。地域の生活者を守り、地区医師会の皆さんが安心して活動ができるようバックアップする事が東京都医師会の使命であると考えています。2年間、精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

副会長(3名)

Vice Presidents



猪口 正孝

Inokuchi Masataka

病院・防災／医療情報／医療福祉担当
[葛飾区医師会]

担当には医療介護総合確保推進法に基づく地域医療構想策定と確保基金の活用や地域包括ケア、災害医療など重要項目が含まれ、ICTを利用した情報の共有、認知症や精神科医療、救急医療など将来の東京の医療を築く事項が目白押しです。発想を柔軟にして、東京都医師会に貢献してまいりたいと思います。



角田 徹

Kakuta Tohru

総務／地域保健／疾病対策／経理／医療安全対策担当
[三鷹市医師会]

地区医師会・会員をしっかりとお支えするためにも都医組織の更なる強化に努めます。今後も『都民目線を踏まえた迅速性のある現場感覚での対応、分かりやすい情報の発信、地区医師会と一体となった活動、強固な医師会組織の構築』の更なる充実を目指してまいります。



近藤 太郎

Kondo Taro

学術・教育／出版・広報／学校保健／社会保険担当
[渋谷区医師会]

東京都医師会医学研究賞等の選定やかかりつけ医の生涯教育講座の実施、指導医ワークショップの開催、東京都医師会雑誌や東京都医師会ニュースの発行、定例記者会見、学校医活動、東京都教育委員会や学校保健会との交渉、保険診療、労災保険、自賠責保険に係わること、産業医活動と地域産業保健センター等の運営に関し、それぞれの担当理事の仕事をサポートいたします。

理事 (15名)

Directors

友安 茂

Tomoyasu Shigeru

学術・教育担当 [昭和大学医師会]

日本医師会生涯教育講座を含めた東京都医師会が共催または主催する講演会の企画、東京都医師会医学研究賞等の選定、医学部学生の地域実習・専門医取得研修・会員の医学研修のあり方などを担当しています。特に、今後の医学部学生、研修医は地域実習、研修が必須になってくると予想されています。地域実習、研修の質を保つためには医学部・臨床研修病院と地域医師会が密接な連携をとる必要があり、その実現に向け努力する所存です。



安藤 高夫

Ando Takao

医療福祉担当 [八王子市医師会]

高齢者や障がい者の方が医療や介護を受けながら住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を実践していきます。東京都や地区医師会、東京都病院協会、また多くの医療介護関係諸団体との連携を密にしながら、東京都ならではの医療介護提供体制を作り上げていきたいと考えております。



渡辺 象

Watanabe Sho

地域保健担当 [大森医師会]

地域包括ケアで新しい街づくりをするこれからの10年間の土台を作るという時期に、東京都医師会としてどのように展開していくか、多職種連携を軸に地区医師会の活動をしっかりと支援していきます。学校保健および出版・広報の副担当としても東京都医師会の更なる体制整備に努めていきます。



平川 博之

Hirakawa Hiroyuki

医療福祉担当 [八王子市医師会]

地域の特性に合致した「地域包括ケアシステム」の構築を支援するため、先駆的取り組みや好事例を研修会・講演会等を通じて、或いは、都医ニュース・HP等の広報手段を用いて地区医師会、会員に情報提供いたします。その一方で地域の抱える課題解決のため、在宅療養推進会議等の東京都の委員会や検討会で意見具申してまいります。



橋本 雄幸

Hashimoto Katsuyuki

総務担当 [港区医師会]

総務担当の主たる業務は、会員のための事業と会務運営です。前者は新規開業や医院継承のサポート事業、医療廃棄物や水銀含有機器の適正処理の広報活動及び実施、医学生に対する社会医学の啓蒙や会員増を始めとした医師会の組織強化などです。後者は新築となった医師会館の有効な活用、医師会事務局の体制整備などがあげられます。



小林 弘幸

Kobayashi Hiroyuki

医療安全対策担当 [順天堂大学医師会]

医療事故・モンスターペイシントを含む医療安全対策システムを構築し、医師会員の日常の診療環境を守っていききたいと思います。また、2015年10月施行の医療事故調査制度に関しては、「支援団体」に手を挙げている東京都医師会では、医師を迅速かつ確にサポートできるよう努めさせていただきます。



蓮沼 剛

Hasunuma Takeshi

社会保険担当 [日本橋医師会]

社会保険、国民健康保険、後期高齢者医療、生活保護医療、労災保険、自賠責保険、タバコ対策を担当しております。指導・監査の立会い、支払基金での審査、東京労働局での審査、行政各部署、審査支払機関との折衝を中心に活動しております。タバコ対策では都内の禁煙を尾崎会長とともに推進していきたいと考えております。



正木 忠明

Masaki Tadaaki

学校保健担当 [江東区医師会]

学校現場では、未成年の喫煙・飲酒、薬物乱用、性に関する課題、生活習慣に由来する疾患、心臓の問題、アレルギー疾患など、多様化・深刻化する子どもの健康管理に対応していかなければなりません。これらの問題解決のためには、学校医の存在が不可欠です。学校医と養護教諭(学校)が中心となり、正しい知識の啓蒙などを教育するシステムを構築したいと考えております。



目々澤 肇

Memezawa Hajime

医療情報担当 [江戸川区医師会]

医療情報・医学生支援を担当します。デジタルネイティブと言われる若い世代が医療の主流となる今後のために、ICTを利用した医療連携システムを①病院間、②病院-診療所、③医療-介護の3段階で実現・普及させること、さらに彼らが医師会活動参加してくれることを促すため、医学生のサークル活動支援を行います。また社会保険副担当として国保審査を担当します。





森久保 雅道

Morikubo Masamichi

地域保健担当 [日野市医師会]

医療・介護・福祉政策が直面する課題と問題解決のため、スピード感を持って取り組みます。多摩・島しょ地域の監察医務業務を考え、監察医制度を全般的に広げることを目指します。東京都医師会から日本医師会への積極的提言をいたします。医師会の組織率の改善、中小病院・有床診療所の立て直しを図ります。「チーム尾崎」一丸となって「和」の心をもって全力投入いたします。



伊藤 雅史

Ito Masashi

病院・防災担当 [足立区医師会]

高齢者搬送の増加に対応する救急医療体制、首都直下型地震に代表される大規模災害、2025年に向けて地域医療構想と地域包括ケアにおける東京都に相応しい病院医療提供体制、医療従事者勤務環境改善、医療安全、情報ネットワークなどの広汎な課題に対して、これまで以上に精力的に取り組みます。



佐々木 伸彦

Sasaki Nobuhiko

疾病対策担当 [調布市医師会]

小児疾病対策担当理事として、予防接種率向上や相互乗り入れの促進、不適切接種の防止、保育園・幼稚園の園医のための研修会開催、自閉症スペクトラム障害や注意欠如多動性障害などの発達障害児の就学前の対応のために園の職員を対象とした研修会の開催、小児在宅医療の推進、児童虐待の防止などに取り組んでいきます。



天木 聡

Amaki Satoshi

出版・広報、産業保健担当 [板橋区医師会]

出版・広報を通じて東京都医師会の幅広い活動を都民に伝え、会員に対しては正確な医療情勢・情報を迅速に提供するための取り組みを進めていきます。また産業医の活動が円滑に行えるように支援し、産業医の質を担保するための日本医師会認定産業医研修会を引き続き開催していきます。



鳥居 明

Torii Akira

疾病対策担当 [世田谷区医師会]

消化器内科を専門にしておりますが、地区医師会では長年にわたり公衆衛生関連を担当してまいりました。その経験を活かし、感染症、予防接種、特定健診、がん検診、難病などの成人の疾病対策に全力で取り組む所存です。特に生活習慣病、がん、喫煙対策などの予防医学を重視し、迅速でわかりやすい情報の発信を心がけたいと考えております。



島崎 美奈子

Shimazaki Minako

経理担当 [目黒区医師会]

経理・税務・融資・医師年金・女性医師支援を担当、副担当として医療安全対策に尽力します。行政との連携と医師会の強い実行力が要求される大きな転換期に、公益法人としての公正円滑な運営は医師会活動の根幹を成す重要な事項です。来春の新会館竣工を控え、行政からの委託費や会員の先生方からお預かりする会費という大切な資金の公正な運用と経費の節減に努めます。また、男女共同参画を推進、女性医師が働きやすい環境の整備に努めます。

監事(2名)

Auditors



赤上 晃

Akagami Akira

[八王子市医師会]

「人生を支える医療を目指す」東京都医師会は、尾崎治夫会長のもと冒頭に記載されている3つの柱からなる医療政策を掲げました。これらの事業の執行状況を監事の立場から監査し支援していきます。会員の先生方はもとより研修医、医学生、更には都民の皆様にも広く医師会の事業内容を知っていただきたいと思ひます。

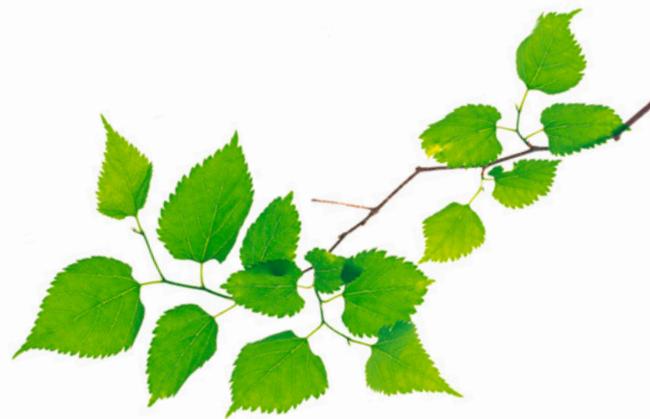


椿 哲朗

Tsubaki Tetsuro

[浅草医師会]

新たな地域医療提供体制と地域包括ケアの構築は東京都医師会と地区医師会の共通の課題です。地区医師会がそれぞれの地域に相応しい効率的で質の高い医療を提供できるよう支援することが東京都医師会の重要な役割です。その達成のためさまざまな活動を展開する尾崎執行部を監事としてしっかりとサポートしてまいります。





東京都医師会は
地域から東京都全体の
生活者を支える
医療提供体制と
地域包括ケアを実現します

医療における信頼の確立を目指す

会長	副会長	理事	監事
尾崎 治夫	猪口 正孝 角田 徹 近藤 太郎	友安 茂 安藤 高夫 渡辺 象 平川 博之 橋本 雄幸 小林 弘幸 蓮沼 剛 正木 忠明	赤上 晃 椿 哲朗
		学術・教育 医療福祉 地域保健 医療福祉 総務 医療安全対策 社会保険 学校保健	
		医療情報 地域保健 病院・防災 疾病対策 出版・広報 疾病対策 経理	目々澤 肇 森久保 雅道 伊藤 雅史 佐々木 伸彦 天木 聡 鳥居 明 島崎 美奈子

人生を支える医療を目指す

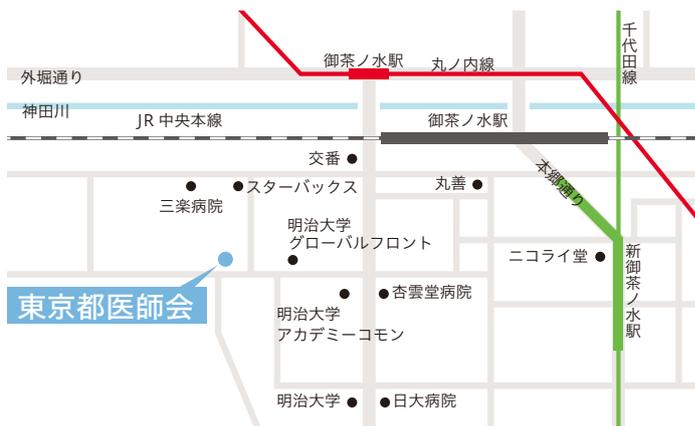


公益社団法人
東京都医師会

〒101-8328 東京都千代田区神田駿河台2-5
Tel. 03-3294-8821 (代表) Fax. 03-3292-7097

■アクセス

- JR 中央・総武線 御茶ノ水駅 (御茶ノ水橋出口) 下車徒歩約2分
- 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 下車徒歩約4分
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分



www.tokyo.med.or.jp